

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 令和4年 4 月 15 日

事業所名 ソフィアキッズ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・法令の運営基準を満たしている部屋の広さになっていますが放デイと児発の多機能型なのでスペースが狭く感じる時もあります。個別学習では個室使用や仕切りなどをしたり、集団活動では反対に仕切りをなくしてスペースを取りつつ支援しています。また、ほぼ毎日外での活動を取り入れています。
	2	職員の配置数は適切である	○			・法令の人員配置基準以上の職員を配置満たしている ・利用者の構成や活動内容によっては安全確保のための増員が必要と見られる。 ・子どもの安全などを考えて、適切な日もあると思いますが、職員がよりいた方が良い日もあると思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			・パーテーションを用いて落ち着きやすい空間を作っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			・掃除をまめにしており清潔な空間を心がけている。 ・こまめな清掃で常に清潔が保たれていると思います。 ・清潔に保たれている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・課題や改善点を口頭で伝え共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・職員の目につく場所に各種研修会のパンフレットが設置されていた。 ・良い支援ができるよう資料をもとに話をされています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			・毎日、個別に目標設定や課題設定を行い個別学習支援、個別療育支援を実施しています。その後に結果や興味の度合い、反応、様子など細やかに記入したものをコピーして保護者様にお渡ししています。 ・課題や改善点等を時折口頭で伝え合い共有している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			・個人に合った支援内容を計画し、スモールステップで大切にしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・作成された活動プログラムを踏まえ、職員の個性を生かした支援をしている。 ・子どもに沿ったプログラムがされていて良いと思います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・社会に向けての活動を考えながら計画しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			・その日の注意点などが確認できるので支援する際に気を付けたりできます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			・送迎や就業時間の都合により、報告に連絡が遅れる事があるが翌日早めに伝えるように務めている。 ・支援したお子様の難しかった事よくできたことなど共有することで次に進みやすいです。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・医療的ケアが必要な児童はいないが受け入れた際には適切な対応ができるよう主治医等と連携していきたいと思う。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			・ソフィアに通っている子全部ではないが図っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			・ソフィアに通っている子全部ではないが図っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			・児童発達支援センターと連携し支援の助言を受けたことはあるが、今年度の研修は都合により参加できなかった。来年度は、研修を受けてみたいと思う。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		・コロナ禍で制限があるが公共の遊び場や図書館をよく利用している中で他児とのおしゃべりや関わりがみられる。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			・保護者の方と連絡帳や電話にて子どもの様子を伝え合い、発達や課題など共通理解を図っている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>			・保護者の相談に対して迅速に対処しているができればペアレント・トレーニングの研修などへ参加を促したい。
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			・最初の面談時や変更時には、その都度、説明をしている。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>			・個別支援計画の中に『ガイドライン項目』の欄を設け、当てはまる所に記入している。保護者の方には訂正希望など確認しながら同意を得ている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		・常に保護者と連携し必要なことは支援に取り入れています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・今のところ、父母の会や保護者会は開催していない。できるだけそのように応じている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・保護者の相談や申し入れに対して、電話や連絡帳でやり取りするなど迅速に対処している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・ホームページとブログで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			・保護者の目に付く書類や連絡帳に利用者の個人名を書かない。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・連絡ノートや活動カレンダー等にルビを振ったり、お手紙には難しい言葉を使わず簡単な言葉に直したものを用意し配布している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・今年度もコロナ感染症予防の為、地域住民を招集する活動は行っていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・非常時等のマニュアルは策定されているが、職員間のみ周知となっている。保護者の方には面談時に話していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・避難訓練は年2回を想定して行っていますが、非常災害の際にどのように子どもたちと避難するか、またすぐに動けるように机上訓練などをして常に確認したいと思います。 ・放デイと合同で地震避難訓練など行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			・その都度、電話や連絡帳にて確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・保護者の指示に基づき対応している。 ・保護者からの依頼で何を食べてはダメかなどを聞いて対応している。 ・保護者の方の指示に基づき対応している為、医師の指示書は検討したい。 ・食物アレルギーのある利用者には職員間で周知除去食の提供をしている。また、アレルギー食品の入ったおやつなどを提供しないよう書面を貼ったり保存容器に分かりやすく×のマークを記入している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		7		・事故防止のため、目を離さないようにするなどを意識して支援に当たっている。ヒヤリハットにある事例にて対処の仕方を共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・社内で虐待防止研修を行っている。 ・出入りに虐待防止ポスターを貼って周知している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			・身体拘束に関するマニュアルを作成し職員間で内容を理解している。 ・身体拘束しなければならない児童はいない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。